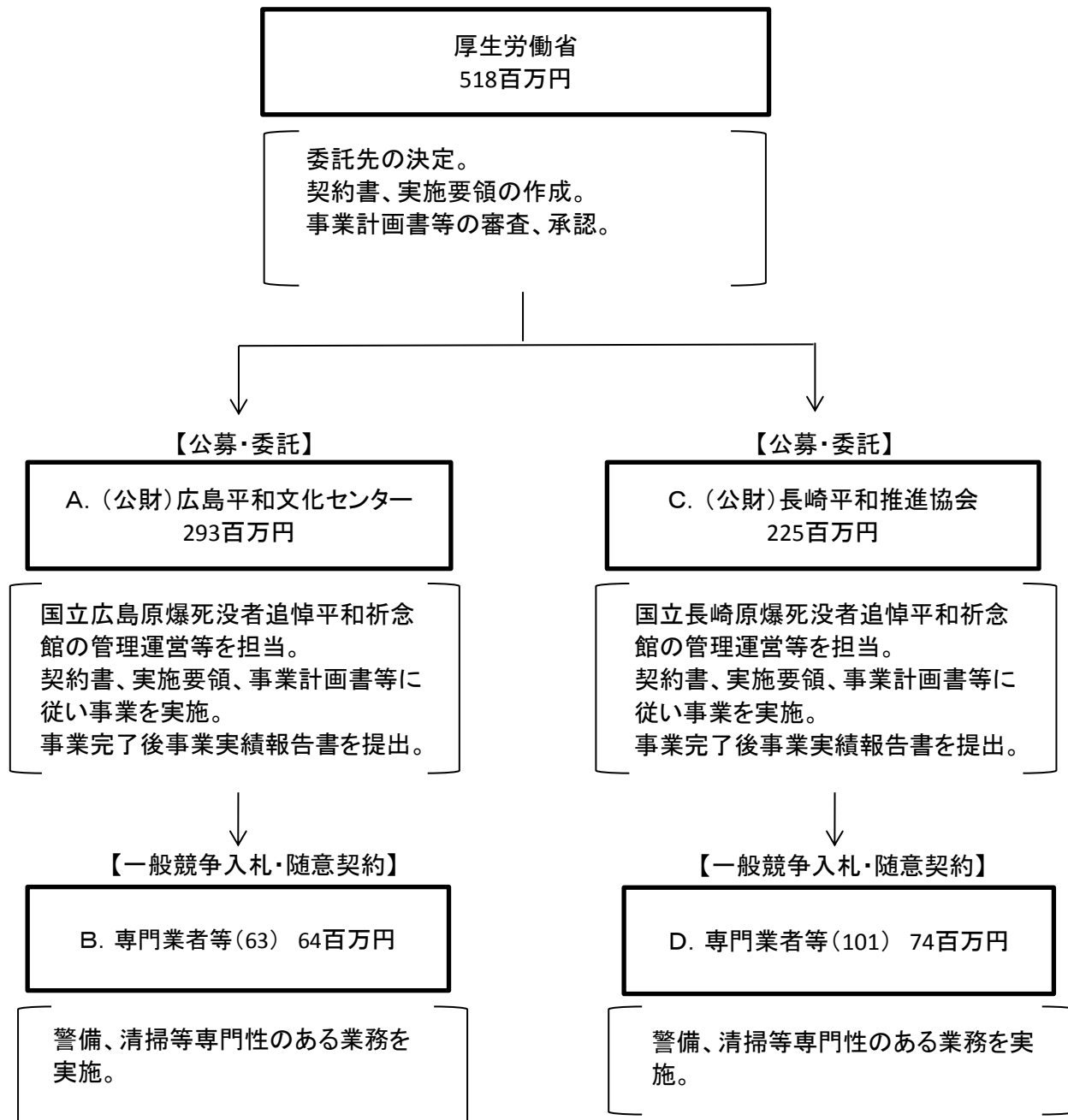


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)							
事業名	原爆死没者追悼平和祈念館運営委託費	担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度	担当課室	総務課指導調査室		総務課指導調査室 稲葉 和男		
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-3 原子爆弾被爆者等を援護する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律第41条	関係する計画、通知等	・「国立広島原爆死没者追悼平和祈念館運営委託事業実施要領」 ・「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営委託事業実施要領」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当委託費は、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律第41条の規定に基づき、国が設置した国立広島原爆死没者追悼平和祈念館及び国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の管理運営に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	委託先は、被爆地である広島、長崎に設置した国立原爆死没者追悼平和祈念館の管理運営を行うとともに、被爆者が記した手記や体験記、その他の被曝関連資料や被曝医療及び平和に関する情報等の存在を調査・収集・整理し、祈念館において、これらを入館者等へ広く情報発信する事業等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計	538	515	518	543	451
	執行額	538	515	518			
	執行率(%)	100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	施設の運営費であるため、定量的に事業成果を示すことには馴染まない。	成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	広島・長崎両祈念館の年間入場者数	活動実績(当初見込み)	人数	広島:214,122 長崎:96,676	広島:215,139 長崎:93,922 (広島:215,000) (長崎:97,000)	広島:190,075 長崎:89,814 (広島:225,000) (長崎:91,000)	- (広島:205,000) (長崎:102,000)
単位当たりコスト	2千円	算出根拠	518百万円 / 279,889人(広島・長崎入場者数合計) = 2千円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	人件費	128	128	過去の執行実績に基づく減 システム更改経費等の減 庁費等の削減に伴う減			
	旅費	6	6				
	謝金等	9	5				
	庁費等	371	288				
	修繕費	3	3				
	消費税	26	21				
計	543	451					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律第41条(※)の規定に基づき設置された施設の運営に係る経費であり、優先度は高い。 ※第41条「国は、広島市及び長崎市に投下された原子爆弾による死没者の尊い犠牲を銘記し、かつ、恒久の平和を祈念するため、原子爆弾の惨禍に関する国民の理解を深め、その体験の後代の国民への継承を図り、及び原子爆弾による死没者に対する追悼の意を表す事業を行う。」
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律第41条の規定に基づき、国として平和を祈念する事業を実施する必要がある。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	原爆死没者追悼平和祈念館の設置目的及び事業内容から、本事業を実施する者は、事業の実施にあたって、被爆者や原爆死没者の遺族の協力を得ることができるとか、関連施設との連携、調整を的確に行うことが必要であるが、上記条件を満たす者が一者のみ若しくは複数存在するかを確認するため、公募を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	過去の実績等を踏まえ予算額の縮減を図るとともに、入場者数の増加を目指す。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	入場料等は徴収していないが、施設の性格に鑑み、妥当と考える。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	施設を管理運営するため、各種業務を再委託しているものであり、合理的な支出である。
活動実績、成果実績	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	経費の使途については、祈念館の管理運営の円滑な実施に真に必要なものに限定している。
	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	概ね見込み通りに活動できている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	原爆死没者の尊い犠牲を銘記し追悼の意を表すとともに、永遠の平和を祈念するための施設として、国内外の人々に広く利用されている。	
点検結果	原爆死没者の尊い犠牲を銘記し追悼の意を表すとともに、永遠の平和を祈念するため設置された国立原爆死没者追悼平和祈念館が、国内外の人々により広く利用されるよう、今後とも適切な運営を図っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	原爆死没者追悼平和祈念館運営委託費については、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく必要な事業であり、予算の執行の観点からも概ね妥当であるが、執行実態を精査のうえ、必要な見直しを行うこと。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	システム更改経費の削減及び過去3カ年の執行実績を踏まえた見直しを行った(反映額△92百万円)。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	189	平成23年行政事業レビュー	166

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



A.(公財)広島平和文化センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員給与等	97			
委託料	警備、清掃等専門性のある業務について専門業者等に委託	94			
使用料 賃借料	館内LAN機器借上料、OA機器借上料等	40			
光熱水費	電気料金、上下水道料金	17			
消耗品費	事務用品、各種印刷物等	7			
通信運搬費	通信回線使用料、電話通話料等	6			
修繕料	施設、設備の修繕料	5			
その他	賃金、報償費、旅費、保険料、公課費等	27			
計		293	計		0
B.サンケイ(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
警備費	警備実施に必要な経費	22			
計		22	計		0
C.(公財)長崎平和推進協会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員給与等	74			
委託料	警備、清掃等専門性のある業務について専門業者等に委託	74			
賃借料	館内LAN機器借上料、OA機器借上料等	25			
光熱水費	電気料金、上下水道料金	15			
旅費	国内旅費、国外旅費	5			
消耗品費	事務用品、各種印刷物等	9			
諸謝金	講師、通訳等謝金	3			
その他	通信運搬費、翻訳料、保険料等	20			
計		225	計		0
D.(株)ふよう長崎			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
警備費	警備実施に必要な経費	9			
計		9	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.(公財)広島平和文化センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)広島平和文化センター	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の管理運営等	293	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.専門業者等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サンケイ(株)	警備	22	6	100%
2	キョウワプロテック(株)	清掃	8	5	100%
3	(株)アエラス	証言ビデオ吹替え版制作業務	7	1	100%
4	日本電気(株)中国支社	情報システム運用保守	6	1	100%
5	(株)みづま工房	新聞紙面への広告掲載等	5	3	100%
6	オーク設備工業(株)関西支社	空気調和機設備等保守点検	5	随意契約	-
7	(株)ユニサス	周辺樹木等保守管理等	5	6	100%
8	(株)ザ・アール大阪支店	総合案内等	4	1	100%
9	(株)アエラス	証言ビデオ制作	3	4	100%
10	(株)アビリティ・インタービジネス・ソリューションズ	体験記翻訳	3	3	100%

C.(公財)長崎平和推進協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)長崎平和推進協会	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の管理運営等	225	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.専門業者等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ふよう長崎	館内警備	9	1	100%
2	大成サービス(株)長崎支店	機械運転管理(中央監視)	8	1	100%
3	日本電気(株)中四国支社	館内LAN機器保守	7	1	100%
4	長崎文化放送(株)	被爆者証言映像制作	6	4	100%
5	ヤマトロジスティクス(株)	海外原爆展資料輸送	5	2	100%
6	星光ビル管理(株)長崎営業所	清掃委託(館内)	5	1	100%
7	個人A	在外被爆者体験記・証言映像収集	3	1	100%
8	(株)松本豊松園	植栽管理	3	3	100%
9	(社)長崎市シルバー人材センター	清掃委託(館外)	3	1	100%
10	ジョンソンコントロールズ(株)九州支店	空調自動制御装置保守点検	3	1	100%